

小児科

1. 外来患者数

年度	外来患者数(人)	
	延べ	1日平均
2023	21,851	89.9
2022	23,578	97.0

2. 入院患者数

年度	入院患者数(人)	
	延べ	1日平均
2023	15,307	40.2
2022	13,555	35.9

3. その他診療実績(2023年)

疾患別外来患者数(実人数)

腎臓・骨代謝グループ	内分泌グループ	新生児グループ	栄養発育グループ				
慢性糸球体腎炎	65	間脳下垂体疾患	230	早産・低出生体重児	136	胎道閉鎖症	125
ネフローゼ症候群	74	と成長障害	135	心疾患	82	肝移植後(胎道閉鎖症含む)	129
慢性腎不全	24	甲状腺疾患	134	神経疾患	36	代謝性肝疾患(Wilson病、シトリン欠損症など)	49
先天性腎尿路奇形	161	性腺疾患・思春期の異常	22	消化器栄養疾患	2	その他の胆汁うっ滞疾患/肝胆道疾患	103
その他の腎・泌尿器疾患	146	副腎疾患	220	腎泌尿器疾患	19	炎症性腸疾患	39
骨系統疾患	241	小児がん経験者フォロー	48	染色体・奇形症候群	127	その他の消化管疾患	12
		糖尿病・低血糖	144			在宅栄養管理	14
		副甲状腺および関連疾患	131			先天性表皮水疱症	12
		その他					

血液腫瘍・免疫グループ	循環動態グループ	臨床神経グループ	発達睡眠高次脳(こころ)				
白血病・リンパ腫	128	先天性心疾患	498	てんかん	264	自閉スペクトラム症	932
固形腫瘍	133	不整脈	25	Glut1欠損症	21	ADHD	204
脳腫瘍	49	心筋症	131	先天性GP1欠損症	7	知的・言語・学習障害	68
原発性免疫不全症	21	肺高血圧症	35	レット症候群	27	てんかん	149
再生不良性貧血・骨髄異形成症候群	31	心移植後	49	MECP2重複症候群	3	結節性硬化症	35
組織球症・血球貪食症候群	19	肺移植後	10	結節性硬化症	7	睡眠時呼吸障害	43
その他	58	川崎病	6	神経筋疾患	18	不眠・睡眠リズム障害	29
		その他	68	自己免疫性神経疾患	9	その他	321
				その他	274		

疾患別入院患者数(延べ)

腎臓・骨代謝・内分泌グループ	栄養・消化器・内分泌グループ	臨床神経・発達障害睡眠・神経代謝グループ			
ネフローゼ症候群	10	炎症性腸疾患	27	てんかん	36
慢性腎炎症候群	15	腸管不全	7	てんかん外科精査	7
先天性腎尿路異常	18	その他の消化管疾患	19	結節性硬化症	12
骨形成不全症	21	内分泌疾患	46	不随意運動	5
軟骨無形成症・低形成症	14	胎道閉鎖	16	神経筋疾患	10
その他の骨系統疾患	7	その他の肝胆膵疾患	16	自閉スペクトラム症	7
糖尿病・内分泌疾患	20	その他	7	睡眠異常(OSAなど)	41
その他	9	計	138	その他	56
計	114			計	174

血液腫瘍・免疫グループ	循環動態グループ		
白血病・リンパ腫	65	単純先天性心疾患	35
固形腫瘍	90	複雑先天性心疾患	101
脳腫瘍	68	心移植後	67
再生不良性貧血	11	心筋症	29
先天性免疫不全	14	心筋炎	1
その他	7	肺高血圧症	25
計	255	不整脈	1
		その他	6
		計	265

新生児の入院に関しては総合周産期母子医療センターのHPを参照

臨床グループの特色

・腎臓・骨代謝グループ:

慢性腎炎・難治性ネフローゼの腎生検・治療、慢性腎不全管理、腹膜透析導入、骨系統疾患・代謝性骨疾患の遺伝学的解析。

・内分泌グループ:(腎臓・骨代謝グループ・栄養発育グループの共同診療)
内分泌機能評価(負荷試験を含む)、先天性・後天性内分泌疾患・糖尿病の治療。

・血液腫瘍・免疫グループ:

小児・AYA世代の小児がん(白血病などの血液腫瘍、悪性固形腫瘍、脳腫瘍など)、再生不良性貧血などの血液疾患、先天性免疫不全症などの治療。同種造血細胞移植の実施。数多くの全国レベルの臨床試験に参加。難治性血液疾患のキメラ抗原受容体(CAR)-T抗原療法施設。

・循環動態グループ:

心筋症、肺高血圧症、重症心不全の難病治療に重点。移植・再生医療を含めた高度な内科的治療への取り組み。胎児診断、新生児心疾患への対応。成人先天性心疾患の内科への移行を推進。

・新生児グループ:

早産児の集中管理。高度医療を必要とする先天性疾患、難治性疾患の治療。Patient- and family-centered careの理念に基づく家族を中心としたケア。

・栄養発育グループ:

小児栄養・消化器・肝臓疾患診療グループとして、小児肝疾患の診断から肝移植を含む治療、消化管内視鏡検査を含めた炎症性腸疾患や腸管機能不全の診断・治療、在宅栄養管理、こどもの成長発育サポート。

・臨床神経グループ:

難治てんかんと稀少小児神経疾患の診療。てんかんセンターの一部として、てんかん外科手術や食事療法、新規治療薬の治験を行っている。Glut1欠損症や先天性GP1欠損症の臨床研究や稀少小児神経疾患の診断・病態解明に努めている。

・発達障害・睡眠グループ:

自閉スペクトラム症、注意欠如多動症(ADHD)などの神経発達症の診断・検査・治療と支援。こどもの睡眠障害に対してポリソムノグラフィを行う国内でも数少ない施設として、睡眠障害の診断・治療。詳細はこどものこころ診療センターのHP参照。

その他

(1) 施設認定

日本小児科学会研修支援施設、小児血液・がん学会専門医研修施設、日本血液学会研修施設、小児神経専門医研修施設、日本周産期・新生児学会専門医研修基幹施設、小児循環器専門医研修施設、臨床遺伝専門医研修施設、日本内分泌学会認定教育施設、非血縁者間造血細胞移植認定診療科、大阪府小児がん拠点病院、厚労省認定小児がん連携病院、心臓移植認定施設(11歳未満移植可能施設)、脳死移植認定施設、脳死小児移植認定施設、脳死移植実施認定施設、心肺同時移植実施認定施設、インベラ実施認定施設、胎児心エコー専門施設、キメラ抗原受容体(CAR)-T抗原療法認定施設

(3) 地域への取り組み

「吹田市発達障害診療ネット」における発達障がい児の診療連携、堺市発達支援事業(4・5歳児発達相談、さかいっ子広場相談支援)豊中市放課後子どもクラブ指導員研修会23.06.07、大阪市発達障がい専門療育機関あさしお園うきき保護者研修会23.12.1、大阪府立藤井寺支援学校PTA保護者研修会23.8.31、24.2.2、茨木市養護教員研修会23.11.1、第5回北摂発達診療セミナー23.9.14、てんかん診療セミナー23.11.8

(2) 専門医・指導医数

日本小児科学会専門医45名・指導医22名、臨床研修指導医14名、日本小児神経学会専門医7名、日本内分泌学会内分泌代謝科(小児科)専門医4名・指導医3名、日本血液学会専門医1名・指導医1名、日本小児血液・がん専門医1名・指導医1名、日本てんかん学会専門医3名・指導医2名、臨床遺伝専門医4名、ICD 1名、日本周産期・新生児学会専門医6名・指導医2名、日本小児循環器学会専門医4名、日本移植学会認定医2名、日本造血・免疫細胞療法学会認定医1名、日本がん治療認定医1名、小児栄養消化器肝臓学会認定医3名、感染症専門医1名・指導医1名、小児感染症認定医1名、日本成人先天性心疾患学会専門医1名